

2CH 4K 1M/E AV MIXER

A-PRO-1 Ver.2

ROI機能クイックガイド



ROI機能を使うために必要な機材

Win/Mac コントローラーソフト 「AP-USB-RS」

※ATVサポートページにて無料ダウンロード

<http://www.atvcorporation.com/products/videos/a-pro-1/support.html>



4K/HDカメラ



4K/HDカメラ

Windows版 (AP-USB-RS ver.1.10以降)

OS : Windows10 (32bit/64bit)

CPU : OSの動作環境に準ずる

メモリ : OSの動作環境に準ずる

ハードディスクの空き容量 : 2MB以上

USBポート : USB2.0 または USB3.0

解像度 : 1024 × 768以上

Macintosh版 (AP-USB-RS ver.1.05以降)

OS : mac OS X 10.9以降

CPU : Intel製CPU/Apple M1 CPU

メモリ : OSの動作環境に準ずる

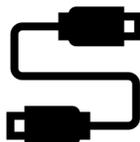
ハードディスクの空き容量 : 2MB以上

USBポート : USB2.0 または USB3.0

解像度 : 1024 × 768以上



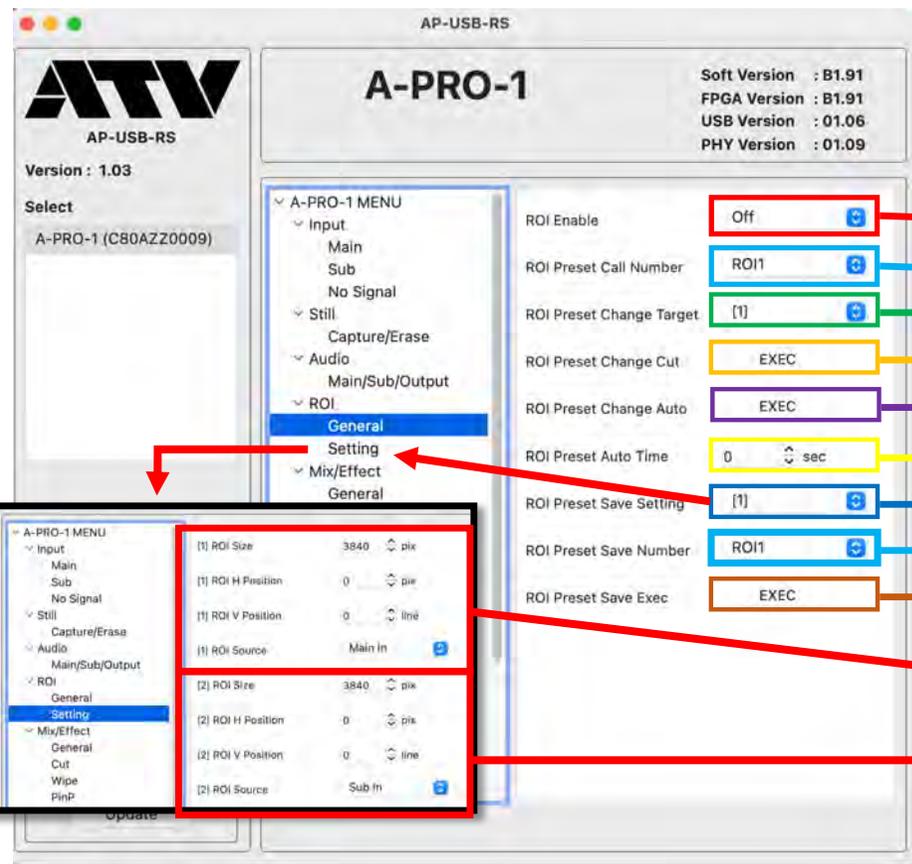
A-PRO-1 Ver.2



USB-A/C ⇄ USB-Cケーブル
(製品には付属していません)



ROI機能を使うためのコントローラソフト解説



USB-A/C ⇄ USB-C

A-PRO-1 Ver.2



Main IN



4Kカメラ

- ROI機能使用時、ONに設定
- ROI1~ROI8までプリセットメモリーできる。それをプルダウンから呼び出せる
- A-PRO-1本体の[1][2]ボタンのどちらにプリセットを呼び出すかを定める
- 指定されたプリセットへカットで切り替える (元画像とプリセットが同じならカットで切り替え)
- 指定されたプリセットへ滑らかに切り替える (元画像とプリセットが同じならパン、チルト、ズームで切り替え)
- 滑らかに切り替える秒数を決定
- [1][2]ボタンのどちらのROI設定 (別ページ) をプリセットへ保存するのを選ぶ
- 保存するプリセット番号を選択する
- 指定されたプリセット番号へ書きする
- [1]ボタンの現在のROI設定
- [2]ボタンの現在のROI設定

PC/Mac コントローラーソフト「AP-USB-RS」

【カンタン】PCキーボードを使って簡単に切り出し設定、保存、呼び出しを行う。

A



B

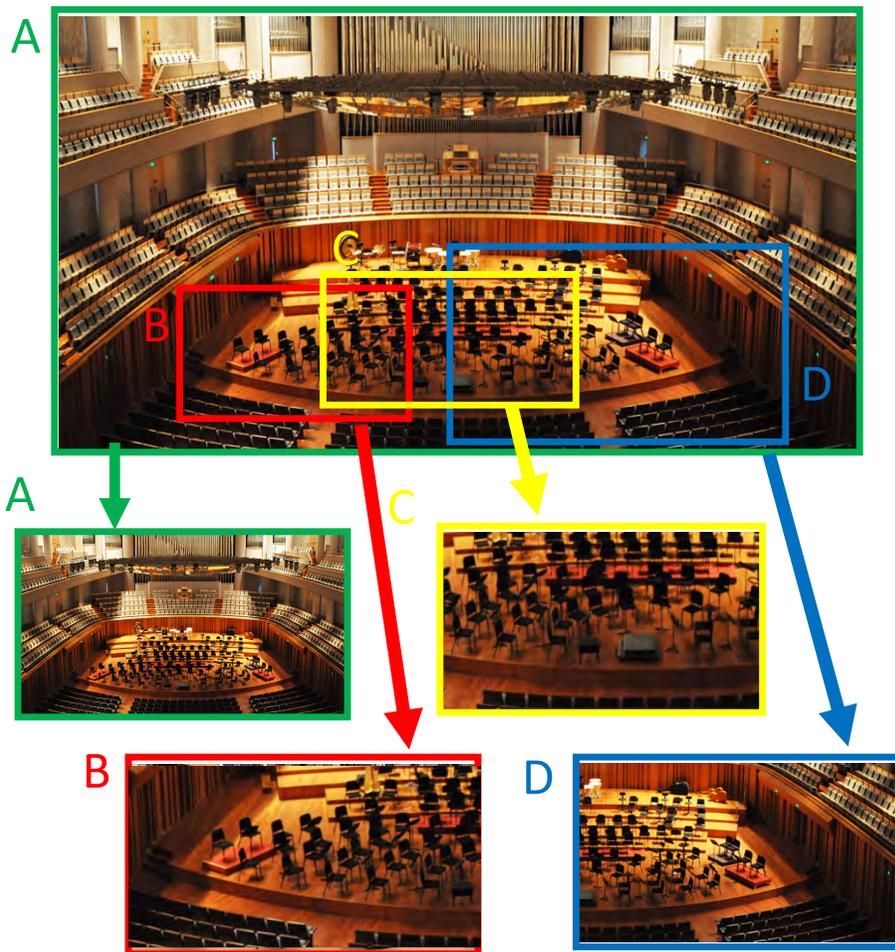


B



- ①4KカメラをMain inに入力(入力画像はAとする)
- ②コントローラソフトのROI>GeneralでROIをONにする
ROI> Setting画面に変更する
PCキーボードの[1]キーにはでデフォルトでAのエリア(4Kサイズのまま)が設定されている
PCキーボードの[2]キーを押すと10秒で画面の左上1/4 (1920pix)にズームする
このズーム時間は[F]キー]を1回押すごとに1秒早くなる ([S]キー1回で1秒遅くなる)
[C]キーを押すとカットで切り替わる
- ③Bのエリアを[2]キーに設定して保存する
[2]キーを押し、左上1920pixの設定を呼び出す
[↓]カーソルキーを任意の回数押して、Bのエリアまで切り取り領域を移動する
[Shift]+[2]キーを同時押しして、[2]キーに領域を保存させる
- ④切り出しエリアの拡大/縮小を行う
[F9]キー : 切り取り領域の拡大 (切り取りPixが大きくなる)
[F10]キー : 切り取り領域の縮小 (切り取りPixが小さくなる)
- ⑤上記の要領でPCキーボードの[1]~[8]まで保存が可能です
入力はSub Inの入力にも有効ですので、最大2カメ、8画角を瞬時に切り替えが可能です

ROI機能を使って、固定カメラ1台で、マルチカメラのような映像を作り出す



- ①4KカメラをMain inに入力(入力画像はAとする)
- ②コントローラソフトのROI>GeneralでROIをONにする
ROI>Setting画面を表示
Aのエリア(4Kサイズのまま)を[1キー]に保存するため、[Shift]+[1]キーを押す
- ③Bのエリアを[2]キーに設定して保存するため、[2]キーを押し、
カーソルキーを任意の方向、回数押してBのエリアまで切り取り領域を移動
切り出しエリアの拡大/縮小を行うために、
[F9]キー：切り取り領域の拡大または、
[F10]キー：切り取り領域の縮小で調節する
[Shift]+[2]キーを同時押しして、[2]キーに領域を保存させる
- ④同様にC,Dの切り取り領域を[3キー][4キー]に保存する
- ⑤[D]キーを押したのちに、[1]キー、[2]キーと押すと、Aのヒキ画面から、
Bの切り出し画面にズームする
[2]キーから[3]キーと押すと、BからCへパンニングする
- ⑥[C]キーを押し、カットで切り替わるように設定する
ABCDの画像をカットで瞬時に切り替えることが可能

AP-USB-RS for Mac ショートカット一覧 (2021/03/19) ※最新版はソフトウェアとともにダウンロードできます。

AP-USB-RS のパラメーターツリー表示部分にフォーカスがある時、以下のショートカットキーが動作します。

■キーボードでの操作

●ROIプリセット呼び出し操作	
1	ROIプリセット 1 を [1] ボタンに呼び出す
2	ROIプリセット 2 を [1] ボタンに呼び出す
3	ROIプリセット 3 を [1] ボタンに呼び出す
4	ROIプリセット 4 を [1] ボタンに呼び出す
5	ROIプリセット 5 を [1] ボタンに呼び出す
6	ROIプリセット 6 を [1] ボタンに呼び出す
7	ROIプリセット 7 を [1] ボタンに呼び出す
8	ROIプリセット 8 を [1] ボタンに呼び出す
F1	ROIプリセット 1 を [2] ボタンに呼び出す
F2	ROIプリセット 2 を [2] ボタンに呼び出す
F3	ROIプリセット 3 を [2] ボタンに呼び出す
F4	ROIプリセット 4 を [2] ボタンに呼び出す
F5	ROIプリセット 5 を [2] ボタンに呼び出す
F6	ROIプリセット 6 を [2] ボタンに呼び出す
F7	ROIプリセット 7 を [2] ボタンに呼び出す
F8	ROIプリセット 8 を [2] ボタンに呼び出す
C	(Cut) 以後のROIプリセットの切り替えをカット動作にする
F	(Fast) 以後のROIプリセットの切り替えのパン・チルト・ズーム動作速度を1秒早くする
D	(Default) 以後のROIプリセットの切り替えを2秒のパン・チルト・ズーム動作にする
S	(Slow) 以後のROIプリセットの切り替えのパン・チルト・ズーム動作速度を1秒遅くする
●ROIエディット操作	
P	[1] ボタン側の入力素材を切り替える
N	[1] ボタン側の入力素材を切り替える
F9	[1] ボタン側の切り出し領域をズームアウトする
F10	[1] ボタン側の切り出し領域をズームインする
↑	[1] ボタン側の切り出し領域を上に移動する
↓	[1] ボタン側の切り出し領域を下に移動する
←	[1] ボタン側の切り出し領域を左に移動する
→	[1] ボタン側の切り出し領域を右に移動する
delete	[1] ボタン側の切り出し位置を中心に戻す
Shift+1	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 1 に保存する
Shift+2	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 2 に保存する
Shift+3	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 3 に保存する
Shift+4	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 4 に保存する
Shift+5	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 5 に保存する
Shift+6	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 6 に保存する
Shift+7	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 7 に保存する
Shift+8	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 8 に保存する
●パネルボタン操作	
,	[1] ボタンを押す
.	[2] ボタンを押す
M	MODEボタンを押す

■テンキーでの操作

●プリセット呼び出し操作	
1	ROIプリセット 1 を [1] ボタンに呼び出す
2	ROIプリセット 2 を [1] ボタンに呼び出す
3	ROIプリセット 3 を [1] ボタンに呼び出す
4	ROIプリセット 4 を [1] ボタンに呼び出す
5	ROIプリセット 5 を [1] ボタンに呼び出す
6	ROIプリセット 6 を [1] ボタンに呼び出す
7	ROIプリセット 7 を [1] ボタンに呼び出す
8	ROIプリセット 8 を [1] ボタンに呼び出す
0+1	ROIプリセット 1 を [2] ボタンに呼び出す
0+2	ROIプリセット 2 を [2] ボタンに呼び出す
0+3	ROIプリセット 3 を [2] ボタンに呼び出す
0+4	ROIプリセット 4 を [2] ボタンに呼び出す
0+5	ROIプリセット 5 を [2] ボタンに呼び出す
0+6	ROIプリセット 6 を [2] ボタンに呼び出す
0+7	ROIプリセット 7 を [2] ボタンに呼び出す
0+8	ROIプリセット 8 を [2] ボタンに呼び出す
.	(小数点) 以後のROIプリセットの切り替えをカット動作にする
*	(乗算記号) 以後のROIプリセットの切り替えのパン・チルト・ズーム動作速度を1秒早くする
/	(除算記号) 以後のROIプリセットの切り替えを2秒のパン・チルト・ズーム動作にする
9	以後のROIプリセットの切り替えのパン・チルト・ズーム動作速度を1秒遅くする
●ROIエディット操作	
-	[1] ボタン側の切り出し領域をズームアウトする
+	[1] ボタン側の切り出し領域をズームインする
clear(NumLock)+8	[1] ボタン側の切り出し領域を上に移動する
clear(NumLock)+2	[1] ボタン側の切り出し領域を下に移動する
clear(NumLock)+4	[1] ボタン側の切り出し領域を左に移動する
clear(NumLock)+6	[1] ボタン側の切り出し領域を右に移動する
clear(NumLock)+3	[1] ボタン側の入力素材を切り替える
clear(NumLock)+9	[1] ボタン側の入力素材を切り替える
clear(NumLock)+7	[1] ボタン側の切り出し位置を中心に戻す
delete	[1] ボタン側の切り出し位置を中心に戻す
Enter+1	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 1 に保存する
Enter+2	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 2 に保存する
Enter+3	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 3 に保存する
Enter+4	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 4 に保存する
Enter+5	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 5 に保存する
Enter+6	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 6 に保存する
Enter+7	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 7 に保存する
Enter+8	[1] ボタン側の切り出し設定をプリセット 8 に保存する